

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

9月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

COVID-19感染者数が増加する中での院内感染対策

COVID-19院内感染防止対策の一つとして、まず院内への持ち込みを防止する対策が挙げられます。当院で実施している具体的な対策として、患者（利用者）さま、家族・面会者、職員（外部委託職員含む）など、病院へ出入りする全ての方を対象に、入館時に発熱・感冒様症状の有無と接触歴の確認、マスク着用と手指衛生の実施（教育・指導）を行っています。さらに家族・面会者に対して面会（入館）制限も行っています。また、新規入院患者に対して、入院時から遡って過去14日間の接触歴の確認を行っています。当院では、2020年7月の院内感染事例の経験を基に、感染リスクが高いと考えられる（施設入所（利用）、会食歴などがある）患者さまに対して、当該患者と接触した相手の方が最終接触後2日以内に発熱や感冒様症状（COVID-19発症）がないか確認を行っています。

医療・介護施設の利用歴がある方は、当院より利用された施設へ確認させていただいております。このことについて、各御施設のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

これらの対応を行い、その後は幸いにも患者さまの持ち込みによる院内感染事例は発生していません。

最近では職員が家庭内で濃厚接触者となり発症するという事例も少なくありません。当院では濃厚接触職員と発症職員は、所属長を通して確認書（最終

接触日、発症日、陽性確定日、発症当日を含めた前3日間の勤務と接触者）を提出するようにしています。これにより濃厚接触者を早期に探知・把握でき、更なる濃厚接触者を出さない対策が可能と考えます。

今回、8月に院内クラスターが発生しました。今回の事例では、感染源不明で感染した職員が感染を自覚しないまま勤務を継続していたことが関連していたと考えられました。さらに患者さまがマスクをしていない状況でのケアを実施したことによって感染拡大につながったと考えられました。職員の有症状時の対応について徹底が不十分であったこと、また患者さま対応時に患者さま側の防護（マスク着用など）が徹底できていないことが明らかとなりました。

今後、再発防止のため、院内への持ち込みを防止することと、院内へ持ち込まれた場合の早急な探知と調査、それと並行した感染防止予防策の実践とその評価・改善を行うことを再度徹底して実践していく必要があります。そのために日頃から常に基本的な院内感染予防が実践できているかを評価し、フィードバックと改善できるシステムの構築、さらには感染管理に携わる職員のみならず、全ての職員が互いに啓発しあえる環境や風土の構築と患者参画が重要と考えます。

（文責：医療管理部感染制御室 感染管理認定看護師 廣瀬憲一）

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

COVID-19感染者数が増加する中での院内感染対策… P 1
 公認心理師を取得しました …………… P 2
 第70回公開講演会のご案内 …………… P 2
 医療最前線 …………… P 3
 外来担当医表（9月） …………… P 4

当センターでは職員の積極的な資格取得を応援しています

資格取得により、本人のキャリアアップと同時に病院全体の質が向上し、最終的には患者さまに還元できると考えています。医療ソーシャルワーカー（MSW）の徳永君が、社会福祉士に加えて公認心理師の資格を取得しました。今後緩和ケアや心理的支援の領域でのさらなる活躍を期待しています。

（文責：山鹿市病院事業管理者 別府 透）

公認心理師を取得しました！

令和3年12月に公認心理師の資格を取得いたしました。公認心理師は平成29年にわが国初の心理職の国家資格として誕生しました。

その業務としては、

1. 保健医療・福祉・教育その他の分野において、専門的知識及び技術をもって、心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析すること。
2. 心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言・指導その他の援助を行うこと。
3. 心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言・指導その他の援助を行うこと。
4. 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行うこと。

と定められており、広く国民の心の健康問題を取り扱う専門職として期待されております。

当院においては、緩和ケア内科を中心として、一

般病棟においても心理的支援が求められる患者さまへのサポートを主な業務としております。日々研鑽を積み、一人でも多くの患者さまのお力になれるよう尽力して参ります。

（文責：地域医療連携室

公認心理師・社会福祉士 徳永心慈）



第70回公開講演会のご案内

（日本医師会生涯教育講座 1 単位）

取得カリキュラムコード 番号・コード名
53.腹痛

下記により第70回公開講演会を開催致します。
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時：令和4年9月9日（金）19：00～
場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
演題：「ストレスと腹痛」
演者：山鹿市民医療センター
消化器内科 富口 純 先生

会費：無料

☆3密を回避したうえで、手指消毒液を準備致します。
マスクの着用をお願い致します。

お問合わせ先 📍 山鹿市民医療センター 地域医療連携室 宮園、深水
TEL：0968-44-2185（内線769） FAX：0968-44-0071

※共催：鹿本医師会／山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

医療最前線 (141)



偽痛風、ピロリン酸カルシウム結晶沈着症について

整形外科医師

山元 雅典

○概要

高齢者の急性発症の関節痛、腫脹、疼痛、発熱の症状出た際多くが偽痛風発作であることがあります。偽痛風発作はピロリン酸カルシウム二水和物 (CPPD) が原因となって痛風に類似した急性関節炎を起こす病態です。きっかけが何もない場合が多いですが、打撲や手術などの侵襲が加わったあとや長期安静臥床をしている際に起きやすいとされています。

○症状

偽痛風の多くの場合、急性関節炎として発症します。高齢者に多く男女差はあまりないとされます。発症する関節は膝関節が多く約半数を占め、他には足関節、手関節が多いとされています。関節炎は数時間～1日の間にピークに達し、数日～2週間程度で軽快します。関節炎の程度は様々であり、全身症状を伴って38℃を超える発熱、白血球増多、CRP値の上昇、赤沈値の亢進がみられることもあります。発作時の関節液は好中球の増加のため混濁しており、化膿性関節炎との鑑別が重要です。急性発症のなかでも頸椎歯突起周囲の結晶沈着による偽痛風を crown dens syndrome とよび発熱、頭痛、頸部痛を伴い髄膜炎のような症状を呈します。

○診断

高齢者の場合、転倒歴不明であることもあり脆弱性骨折の可能性もあるため単純X線像で疼痛部、腫脹部を評価し骨傷の有無をまず評価します。偽痛風では単純X線像で関節内石灰沈着を認めます。crown dens syndrome は頸椎CTで歯突起周囲に石灰沈着を認めます。確定診断には関節液中CPPD結晶を証明することが必要です。鑑別すべき疾患として重要なのが化膿性関節炎です。穿刺吸引した関節液は細菌培養検査を行い判断します。複数回の関節穿刺歴のある方、糖尿病の既往歴のある方、免疫抑制剤使用されている方の場合化膿性関節炎の可能性を常に考慮する必要があります。化膿性関節炎の場合は抗菌薬の経静脈投与が必要となりますが、早期外科的ドレナージが必要となることがあります注意が必要です。

○治療

ピロリン酸カルシウム濃度をコントロールできる薬物療法はなく、偽痛風の関節炎に対する対症療法が中心となります。急性関節炎には、関節液の穿刺排液、局所の安静、NSAIDs の経口投与を行います。関節炎症状が強いときには副腎皮質ステロイドの経口投与または関節内投与も有効です。

熱源不明の高齢者に関節腫脹、関節痛があった場合偽痛風であることがしばしばありますが、化膿性関節炎であった場合全身状態が急に悪化することもありますので、診断に悩まれる際にはお気軽に当院へご相談いただけますと幸いです。今後とも何卒よろしくごお願い申し上げます。

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

9月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 御任 玲美	※ 猪山 慎治	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	富口 純 (上野 茂紀)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※ 木山 卓也 担当医 (予約のみ)	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 山元雅典/中原達秀	工藤 智志 山元 雅典 中原 達秀	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 (織田 枝里)	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 山村 謙介
乳腺外科	—	※ 富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	※ 非常勤医師	—	※ 非常勤医師 神波 大己 教授 (第1・3・5)	—
小児科	※ 石井 真美 9:00~16:30まで	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※ 石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※ 石井 真美	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン タ ー 感 覚 器	耳鼻咽喉科	—	※ 非常勤医師	—	※ 非常勤医師
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	※ 片淵美和子 (午後)	※ 片淵美和子 (午後)	—	※ 非常勤医師 *片淵美和子(午後)	※ 非常勤医師
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	整形外科医	大庭 圭介	消化器科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	坂田 和子 石河 隆敏	川崎 修二	堀 和樹	—	※ 非常勤医師

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
 ※ 非常勤医師です。 * 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来

9月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法(予約制)	担当医 宮本 英明	毎週 火曜・水曜 毎週 金曜(がん薬物療法専門医)	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※ 石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片淵美和子	9/5(月)、6(火)、8(木)、12(月)、13(火)、20(火)、26(月)、27(火)、29(木)	
PEG外来	担当医	毎月 第2・4水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
 ◎急患の場合は、この限りではありません。
 ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター
 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>